



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月5日

上場会社名 株式会社サトー 上場取引所 東  
 コード番号 6287 URL <http://www.sato.co.jp>  
 代表取締役執行役員社長兼最高経営責任者（氏名）西田 浩一  
 代表者（役職名）執行役員経営企画部長（氏名）榎田 晃裕 (TEL) 03 (5789) 2500  
 問合せ先責任者（役職名）本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	19,291	7.5	901	420.9	773	231.3	300	336.1
22年3月期第1四半期	17,937	△17.0	173	△83.5	233	△80.3	69	△88.5

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	9	99	—	—
22年3月期第1四半期	2	29	—	—

#### （2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23年3月期第1四半期	65,578		35,159		53.5	1,164	48	
22年3月期	64,203		35,985		55.9	1,191	84	

（参考）自己資本 23年3月期第1四半期 35,063百万円 22年3月期 35,887百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	—	16	00	—	—	17	00	33	00
23年3月期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23年3月期（予想）	—	—	16	00	—	—	17	00	33	00

（注）当四半期における配当予想の修正有無：無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	38,000	4.2	1,600	108.0	1,400	66.4	600	126.5	19	93
通期	80,000	6.8	3,700	43.7	3,400	52.1	1,400	79.2	46	49

（注）当四半期における業績予想の修正有無：有

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	32,001,169株	22年3月期	32,001,169株
23年3月期1Q	1,890,193株	22年3月期	1,889,813株
23年3月期1Q	30,111,026株	22年3月期1Q	30,111,832株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 [添付資料] 3 ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、在庫調整の進展や堅調なアジア経済に支えられ、全体として緩やかな回復を続けておりますが、欧州の金融財政不安や円高、株安といった要因もあり、先行きについては不透明な状況となっております。

このような経済環境の中、当社グループでは、前期下半期からの生産回復や在庫調整の一巡に伴いサプライ製品の需要が回復しております。また、各企業の一層の効率化・合理化の動きを捉え、製造業を中心とする設備投資需要の掘り起こしを行うべく、メカトロ製品を絡めた提案営業に力を入れており、その効果も徐々に現れてまいりました。

国内におきましては、営業力の一層の強化を狙い当期初より東京にマーケット別の8つの事業部を設置いたしました。リテール、FA、食品、ロジスティクス、メディカル、BP（ビジネスパートナー）、公共、カードの各事業部が自動認識技術を活かした積極的な提案を行い、新市場、新規用途の開拓に繋がる販売活動を展開しております。また、成功事例を提案ノウハウとしてパッケージ化し、全国拠点に横展開し売上拡大をはかる施策をとっております。これらの活動により売上高は回復傾向を強め、当第1四半期連結累計期間の国内売上高は14,616百万円、前年同四半期比108.0%へと回復してまいりました。海外におきましても、米州、欧州、アジア・オセアニア地域各国で売上拡大につとめたことや、中国を始めとするアジア新興国の成長需要を取り込むことができ、為替変動に伴う減少（影響額△258百万円）がある中、海外売上高は4,674百万円（前年同四半期比106.2%）となりました。

利益面では、グループの総力を挙げ各地域で生産性の向上及び製造コストの低減、各種経費節減への取り組みを継続実施しており、収益構造は着実に改善してまいりました。国内では販管費の効率執行を徹底し、計画を上回る利益を確保したほか、海外においても構造改革に取り組む欧州や、シンガポールの海外統括機能を本社に統合したアジア・オセアニアを中心として収益改善につとめた結果、海外事業の採算を大きく改善することができました。

これらの活動の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、19,291百万円（前年同四半期比107.5%）、営業利益901百万円（同520.9%）、経常利益773百万円（同331.3%）、四半期純利益300百万円（同436.1%）となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

#### a. 日本

売上高14,616百万円（前年同四半期比108.0%）、817百万円（前年同四半期比159.0%）となりました。

#### b. 米州

売上高1,612百万円（前年同四半期比100.2%）、営業利益53百万円（前年同四半期比89.3%）となりました。

#### c. 欧州

売上高1,631百万円（前年同四半期比97.9%）、営業損失41百万円（前年同四半期は営業損失219百万円）となりました。

#### d. アジア・オセアニア

売上高1,431百万円（前年同四半期比127.2%）、営業利益66百万円（前年同四半期は営業損失167百万円）となりました。

製品別の状況は以下のとおりであります。

a. メカトロ製品売上高6,971百万円（前年同四半期比103.6%）となりました。

b. サプライ製品売上高12,319百万円（前年同四半期比109.9%）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における総資産は、65,578百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,374百万円の増加となりました。その主な要因は、有形固定資産の増加等によるものです。なお純資産は、株主資本で配当金支払いを行ったこと、為替換算調整勘定が減少したこと等により826百万円減少し、35,159百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、12,182百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,592百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は295百万円（前年同四半期比26.9%）となりました。

主なプラス要因は税金等調整前四半期純利益675百万円、減価償却費504百万円及び、未払金の増加額404百万円等であり、主なマイナス要因は売上債権の増加額195百万円、たな卸資産の増加額133百万円及び法人税等の支払額608百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3,009百万円(前年同四半期比673.6%)となりました。

主な要因は、新本社(本店)社屋の取得を含む有形固定資産の取得による支出2,915百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1,473百万円の増加(前年同四半期は215百万円の減少)となりました。

主な要因は、短期借入金の純減少額65百万円、長期借入れによる収入2,000百万円等によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の業績の見通しにつきましては、当第1四半期累計期間において、期初の想定よりも生産回復や在庫調整の一巡に伴うサプライ製品の需要回復が見られ、メカトロ製品商談の引き合いも底堅く推移したことや販管費の抑制効果も収益に寄与しましたが、一方で当第1四半期累計期間においては急速に円高が進行しました。当該為替の影響を考慮し、平成23年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を修正いたします。

#### 第2四半期連結累計期間の連結業績予想

売上高	38,000百万円	(前回予想	39,000百万円)
営業利益	1,600百万円	(同	1,400百万円)
経常利益	1,400百万円	(同	1,300百万円)
四半期純利益	600百万円	(同	700百万円)

#### 通期の連結業績予想

売上高	80,000百万円	(前回予想	80,000百万円)
営業利益	3,700百万円	(同	3,500百万円)
経常利益	3,400百万円	(同	3,300百万円)
当期純利益	1,400百万円	(同	1,400百万円)

なお、第2四半期連結会計期間以降の業績予想の前提となる為替レートにつきましては、1米ドル90円、1ユーロ110円を想定しております。

(当初前提は1米ドル90円、1ユーロ125円)

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 簡便な会計処理

#### ① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ② 固定資産の減価償却の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

#### ③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末決算において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを使用しております。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 1. 会計処理基準に関する事項の変更

#### ① 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる損益へ与える影響は軽微であります。

② 企業結合に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

2. 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,025	13,584
受取手形及び売掛金	16,288	16,346
有価証券	156	189
商品及び製品	6,088	6,198
仕掛品	95	114
原材料及び貯蔵品	1,558	1,548
その他	4,527	3,301
貸倒引当金	△145	△159
流動資産合計	40,595	41,125
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,594	5,069
その他(純額)	9,828	9,925
有形固定資産合計	17,423	14,994
無形固定資産		
のれん	324	369
その他	1,466	1,505
無形固定資産合計	1,791	1,875
投資その他の資産	5,768	6,208
固定資産合計	24,982	23,078
資産合計	65,578	64,203
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,512	4,666
短期借入金	4,112	3,542
未払金	11,305	10,817
未払法人税等	333	660
引当金	172	152
その他	3,401	2,908
流動負債合計	23,838	22,748
固定負債		
長期借入金	3,333	2,000
退職給付引当金	1,638	1,719
その他	1,608	1,750
固定負債合計	6,580	5,469
負債合計	30,418	28,218

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,331	6,331
資本剰余金	5,799	5,799
利益剰余金	28,116	28,327
自己株式	△3,458	△3,457
株主資本合計	36,788	37,000
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5	5
為替換算調整勘定	△1,730	△1,118
評価・換算差額等合計	△1,725	△1,112
新株予約権	87	89
少数株主持分	7	7
純資産合計	35,159	35,985
負債純資産合計	65,578	64,203



(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	17,937	19,291
売上原価	10,488	11,128
売上総利益	7,449	8,162
販売費及び一般管理費	7,275	7,260
営業利益	173	901
営業外収益		
受取利息	8	6
受取配当金	1	0
為替差益	86	—
受取賃貸料	—	22
その他	38	29
営業外収益合計	135	58
営業外費用		
支払利息	29	27
為替差損	—	124
スワップ評価損	35	—
その他	9	35
営業外費用合計	74	187
経常利益	233	773
特別利益		
固定資産売却益	1	0
償却債権取立益	12	—
新株予約権戻入益	—	1
その他	2	—
特別利益合計	15	2
特別損失		
固定資産除却損	4	1
固定資産売却損	0	0
事業再編損	35	9
事務所移転費用	—	72
その他	—	16
特別損失合計	40	99
税金等調整前四半期純利益	208	675
法人税、住民税及び事業税	275	303
法人税等調整額	△136	70
法人税等合計	139	374
少数株主損益調整前四半期純利益	—	301
少数株主利益	0	0
四半期純利益	69	300

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	208	675
減価償却費	591	504
のれん償却額	32	24
固定資産売却損益(△は益)	△1	0
固定資産除却損	4	1
引当金の増減額(△は減少)	42	25
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	61	2
受取利息及び受取配当金	△10	△7
支払利息	29	27
為替差損益(△は益)	△123	334
売上債権の増減額(△は増加)	△133	△195
たな卸資産の増減額(△は増加)	587	△133
仕入債務の増減額(△は減少)	441	△93
未払金の増減額(△は減少)	△396	404
その他	△78	△644
小計	1,257	923
利息及び配当金の受取額	10	6
利息の支払額	△27	△26
法人税等の支払額	△141	△608
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,099	295
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△140	△2,915
有形固定資産の売却による収入	1	1
無形固定資産の取得による支出	△124	△32
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△59
その他	△183	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△446	△3,009
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	269	△65
長期借入れによる収入	—	2,000
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△471	△481
その他	△13	21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△215	1,473
現金及び現金同等物に係る換算差額	69	△352
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	506	△1,592
現金及び現金同等物の期首残高	10,814	13,774
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,321	12,182

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは国内外で自動認識技術を駆使し、各地域毎にその地域の特徴に合わせた形で独自のビジネスモデル「DCS&Labeling」を展開し、メカトロ製品及びサプライ製品の製造・販売のほか、ソフトウェア及び保守サービスの提供を行い事業活動を行っております。

国内においては当社が、海外においては、米州、欧州、アジア・オセアニアの地域統括会社が其々の傘下にある現地法人に対して、生産面、販売面での戦略立案を行うとともに経営指導を行い、地域全体を指導、管理する体制をとっております。

従いまして、当社は生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、日本、米州、欧州、アジア・オセアニアの4地域を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

(単位：百万円)

	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	14,616	1,612	1,631	1,431	19,291
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,074	26	65	1,443	2,610
計	15,690	1,638	1,697	2,875	21,901
セグメント利益又はセグメント損失(△)	817	53	△41	66	895

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	895
セグメント間取引消去	△18
のれんの償却額	△22
棚卸資産の調整額	44
その他の調整額	2
四半期連結損益計算書の営業利益	901

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。